【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年8月2日(2023.8.2)

【公開番号】特開2022-136146(P2022-136146A)
【公開日】令和4年9月15日(2022.9.15)
【年通号数】公開公報(特許)2022-171
【出願番号】特願2022-116154(P2022-116154)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　1/20(2020.01)
Ａ２４Ｄ　3/17(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/42(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　1/20
Ａ２４Ｄ　3/17
Ａ２４Ｆ 40/20
Ａ２４Ｆ 40/42

【手続補正書】
【提出日】令和5年7月25日(2023.7.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記マウスピース部は、冷却部を有し、
前記冷却部は、開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）　（第１領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）＞（第２領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）
【請求項２】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記チップペーパーは、開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）　（第１領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）＞（第２領域

における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）
【請求項３】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記マウスピース部は、冷却部を有し、
前記チップペーパー及び前記冷却部は、これらを貫通する開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）（第１領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）＞（第２領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量）
【請求項４】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記マウスピース部は、冷却部を有し、
前記冷却部は、開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）（第１領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）＞（第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）
【請求項５】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記チップペーパーは、開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）（第１領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）＞（第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）
【請求項６】
たばこロッド部及びマウスピース部を備え、これらの部材がチップペーパーにより巻装されてなる巻装部を有する非燃焼加熱式たばこであって、
前記巻装部は、前記非燃焼加熱式たばこの吸口側端部を含む第１領域と、該第１領域よりも前記巻装部のたばこロッド部側に位置する第２領域から構成され、
前記第１領域は、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度２３０℃未満の領域であり、
前記第１領域及び前記第２領域が、下記条件（Ａ）を満たし、
前記マウスピース部は、冷却部を有し、
前記チップペーパー及び前記冷却部は、これらを貫通する開孔を有する、
非燃焼加熱式たばこ。
（Ａ）（第１領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）＞（第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量）
【請求項７】
前記第１領域が、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度１２０℃未満の領域である

、請求項１～６のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項８】
前記第１領域が、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度１００℃未満の領域である、請求項１～６のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項９】
前記第１領域が、前記非燃焼加熱式たばこの使用時に、温度８０℃未満の領域である、請求項１～６のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１０】
前記第１領域と前記第２領域の境界が、前記非燃焼加熱式たばこの長軸方向において、吸口側端部から１８．０ｍｍ以上２０．０ｍｍ以下の位置にある、請求項１～９のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１１】
前記第１領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量に対する、第２領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量の割合が、１／２以下である、請求項１～３のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１２】
前記第１領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量に対する、第２領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量の割合が、１／４以下である、請求項１１に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１３】
前記第２領域における単位面積当たりのリップリリース剤の含有量が、０．５６μｇ／ｍｍ^{2}未満である、請求項１～３のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１４】
前記第１領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量に対する、第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量の割合が、１／２以下である、請求項４～６のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１５】
前記第１領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量に対する、第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量の割合が、１／４以下である、請求項１４に記載の非燃焼加熱式たばこ。
【請求項１６】
前記第２領域における単位面積当たりのニトロセルロースの含有量が、０．５６μｇ／ｍｍ^{2}未満である、請求項４～６のいずれか１項に記載の非燃焼加熱式たばこ。